

《本校の特色》

教育理念、目的にもとづき、次のような資質を持った学生を求めています。

1. アドミッションポリシー（入学受入れ方針）

1. 理学療法士になりたいという明確な目標をもち、専門性を高める努力ができる人
2. 倫理観を持って人に共感し、思いやりの心をもったコミュニケーションができる人
3. 医療のスペシャリストとして地域社会に貢献する意欲のある人
4. 健康と生活に関心を持ち、自立した日常生活力を身につけようとしている人

2. カリキュラムポリシー

本校のカリキュラムは、科目のなかで学ぶ基礎的専門的な知識・技術の学習と併せて、豊かな人間的成長を育むため学習への工夫を取り組んでいる。ICTを活用したシミュレーション教育や体験学習を積極的に取り入れている。本校の強みを活かし地域や他学科と連携・協働しながら多職種連携について学べるカリキュラム構成になっている。

1. 理学療法の対象である人間を身体・精神・社会的側面から統合的に捉え人間関係をより詳しく見つめコミュニケーション能力が修得できるよう＜基礎分野＞を配置している。
2. 人体の構造・病態生理の知識をもとに疾病を理学療法の視点で捉え、健康の保持増進につながり、健康障害をもつ対象の健康状態の変化がわかり、治療が及ぼす影響について対応する思考過程が学べるよう＜専門基礎分野＞から＜専門分野＞へ繋がる内容とした。
3. 人々の暮らしに目を向け、人に優しい福祉やお互いに尊重しあう思いやりの心をもった街づくりに貢献できるよう「地域系の科目」を配置した。
4. 到達目標に照らし自己評価しながら学習する双方向授業を基本として、学生参加型の少人数グループワークや視聴覚教材・ICTを活用した授業を計画した。

3. ディプロマポリシー

教育目標をもとに、理学療法士として卒業時に身につける姿を以下に示します。

1. 人間を身体的・精神的・社会的に統合された、多様性を持った存在として幅広く理解できる。
2. 対象を中心とした理学療法を提供するために、理学療法士としての人間関係を形成するコミュニケーション能力を身につける。
3. 理学療法士としての責務を自覚し、対象の立場に立った倫理に基づく理学療法が実践できる。
4. 健康の保持・増進・疾病の予防及び、健康の回復に関わる理学療法を健康の状態やその変化に応じて科学的根拠に基づいた判断ができ、対応できる基礎的能力を身につける。
5. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割及び多職種の役割を理解し、多職種と連携・協働しながら多様な場で生活する人々への理学療法が提供できる基礎的能力を身につける。

4. アセスメントポリシー

学習成果は以下の通りに評価します。

1. 実技では、対象者の気持ちになって侵害を最小限に抑えた実技ができたか、精度良くできたかを点数化します。
2. 学科では、選択問題は解答の精度、記述問題は解答の精度はもとより自分の意見を組み込んでいるかを含めて点数化します。
3. 点数化は各担当教員が配分し、60点を合格とします。
4. 実習の評価では、見学検査測定実習と地域リハビリテーション実習は現場の指導者の意見、評価実習は現場の指導者の意見と実習後の症例発表グループワーク、長期実習は実習前後の OSCE と指導者の意見をもとに点数化します。
5. 90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可、60点未満を不可として評価します。